city & life

都市のしくみとくらし

no.62
winter
2001

特集

使う建築、使うまち——
都市のストック活用法|国内編

city&life no.62 winter 2001

表紙――佃ハウス（関連記事p15）
裏表紙――500BAR（関連記事p23）
photo:伊奈英次

特集

使う建築、使うまち――都市のストック活用法｜国内編

contents

シンポジウム｜都市は「ストック・アンド・リニューアル」の時代
田原幸夫×八木雅夫×宮脇勝×三船康道［司会］ 2

ケーススタディ｜都市のストック活用法 11

ルポ｜「空き地」「空き家」を利用しよう
アートプログラムとまちづくり 25

登録文化財制度を活かす
伊豆修善寺「新井旅館」 31

連載｜都市を拓いた人々㊲｜大津 35

information・back number 40

使う建築、使うまち——都市のストック活用法—国内編

特集

建築保存のためにさまざまな方法が開発されている。
なかでも保存しながら使い続ける「アダプティブユース」が注目され、
またそうした「やわらかい保存」を可能とする制度上の工夫もなされるようになってきた。
日本もようやく、「建築」を「都市のストック」として捉え、その活用を考える時代になってきたといえる。
まちづくりとの接点から、保存される建築のあり方と活用方法について、日本の事例を見ながら考える。

PHOTO:**伊奈英次**「新風館SHIN-PUH-KAN」